

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①基礎的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む意欲を高めるような学習活動の実践を目指す。 ②生徒の学力向上と希望進路保障のために授業改善を推進し、カリキュラムマネジメントに取り組む。	①生徒が自律的に学べるような学習活動、また進路希望を実現できるような科目選択につながる指導をより一層実践する。 ②各教科で定めたカリキュラムデザインを共有し、カリキュラムマネジメントに努める。	①補習や夏期講習、取り組みやすい課題の設定などを通じて、自分で学びを作る力を育む。 ②教科会等で情報共有を頻繁に行い、授業改善を目指す。	①生徒による授業評価における満足度80%を維持しているか。 ②年度末の振り返りなどで、十分な手応えを感じられたか。					
2 生徒指導・支援	①生徒の主体的な取り組みを通じて学校生活の充実を目指す姿勢を育む。 ②生徒の多様性を踏まえた支援体制の充実を図る。 ③日常生活や学校活動の意義を深く理解し、自分自身の成長を常に求めようと努力する姿勢を育む。	①部活動・学校行事などの場面を通じて自分達の環境を自分達で作る意識を醸成できるよう働きかける。 ②生徒の多様な状況に合わせた支援体制の充実を図る。 ③学校生活におけるルールやマナーについての意識を高めさせる指導体制の充実及び防犯対策に努める意識の向上を図る	①金井祭など生徒主体の活動を生徒会本部が主導できる行事設定を行う。 ②教育相談にかかわる情報共有と外部機関との連携を進めて生徒の支援体制の確立を図る。 ③日常的な指導に加え、集会やオンライン配信を通じてルールやマナー及び防犯対策への意識を高め、教員間の情報共有を徹底する指導体制の確立を図る。	①多くの生徒が参加し主体的な行事運営ができていたか。 ②教育相談の成果を踏まえ、生徒や保護者に適切な支援ができたか。 ③生活指導の成果を踏まえ、生徒や保護者に適切な指導ができたか。					
3 進路指導・支援	①生徒が主体的に考え行動し、自身の将来を開拓していく力を育む。 ②探究活動を通じて協働することを学び、社会への理解を深め、予測不能な社会で生き抜いていく力を身に付ける支援をする。 ③学習活動を通し、生涯に渡って学び続ける基礎力を育む。	①③キャリア形成に向けて主体的に活動できるように支援するため、各種ガイダンスや模試等を積極的に活用することで、生徒一人ひとりが主体的に将来を意識し、可能性を広げられるようにする。 ②探究活動を通じて、社会が抱える問題と自分との関係を意識し、課題解決に向けた力を育成する。	①③一人ひとりの進路に適した指導を行うために、各種ガイダンスや模試、個人面談を活用して、それぞれが具体的な行動をとれるようにする。 ②グループ活動から個人活動への移行を円滑に行い、課題解決能力を身につけることができるようにする。	①③模試や各種ガイダンス、面談等を活用する中で、進路意識を向上することができたか。 ②探究活動を通して社会が抱える問題を自分と繋げて考え、言語化することができたか。					
4 地域等との協働	①地域や保護者との連携を推進し、開かれた学校づくりを進める。 ②中学生やその保護者に本校の魅力を実践的に伝え、本校を志願する生徒を増やす。	①③学校運営協議会を効果的に活用し、地域や保護者との連携をさらに進める。 ②受検生やその保護者などに本校への理解を深めてもらうために、ホームページや学校	①③生徒やPTAが様々な行事に積極的に参加できるようにする。 ②ホームページを更新し、各種広報	①③地域イベントなどに生徒が参加できたか。PTA活動が計画通り実施できたか。 ②学校説明会など					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
	③近隣地域との交流の意義について理解させ、地域との交流行事を増やす。	説明会などの内容をさらに充実させる。	活動で生徒が活動できる機会を与え、中学生に本校の特色をアピールする。	では生徒の活動の機会が十分に持てたか。学校説明会等の参加人数や受検生を増やすことができたか。					
5 学校管理 学校運営	①安全・安心な学校づくりを推進する。 ②50周年の周年行事を通じて、地域や卒業生の力を本校の教育活動に最大限に活用していく。 ③職場の民主化・平準化の充実を目指し、様々な方面の調整を進める。	①校舎の老朽化や危険箇所への対応を迅速に行う。訓練を実施し、防災意識を高める ②周年行事についての資料を整理する。 ③風通しの良い職場環境づくりを目指す。	①修繕・修理に対し、適切に対応する。防災用品の適切な管理を行う。非常時の行動を確認する。 ②周年行事の事業内容を総括する。 ③職員同士がお互いに積極的に声をかけあって、コミュニケーションをとりやすい雰囲気をお互いに作る。	①生徒の教育活動に支障がないように配慮ができたか。 防災用品の整備充実ができたか。防災意識を高めることができたか ②資料を整理し、完校にむけての見通しを立てることができたか。 ③前年と比較してストレスチェックの数値が少なくなったか。					